

INSTRUCTIONS FOR USE MARÉOGRAPHE

RONDA 4310.D

INFORMATION

こちらのニューポート・マレオグラフ35周年モデルは
タイドインジケーションハンド「潮汐（ちょうせき）表示針」を搭載しています。
先端にがついている針です。潮汐の周期は平均で12時間25分です。
時計の針は12時間25分で1回転し、これは平均的な潮汐周期を表しています。
満潮表示「Pleine mer」は文字盤の12時の位置にあり
干潮表示「Basse mer」は6時の位置にあります。
下げ潮表示「marée descendante」および上げ潮表示（「marée montante」）は
それぞれダイヤルの3時と9時の位置にあります。



HERBELIN

HORLOGER CONTEMPORAIN DEPUIS 1947



TWO SETTINGS METHODS FOR YOUR WATCH

この時計には、以下の2種類の設定方法があります

SIMPLIFIED SETTING (簡易設定)

1. 信頼できるデータソース、ウェブサイト、または潮汐ガイドから現在地の潮汐状態を確認してください。
※日本では以下をご参照いただけます：気象庁 潮位表
<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>
2. 次の潮汐の極大（満潮または干潮）を特定してください。
3. この潮汐極大の時刻に、針を対応する位置（満潮または干潮）に合わせます。設定方法は「針の設定」の段落に記載されています。
例：現在時刻は10:15、潮汐表によると、干潮は午後1:20です。
午後1:20まで待ち、6時の位置にある干潮の位置に針を合わせます。

« NAVIGATOR » SETTING FOR THE INITIATED

(熟練者向けの「ナビゲーター」設定)

潮汐表を使用して、現在の潮汐の周期内での位置を計算します。

これにより、針の位置を即座に調整できます。

例1（下記に図示）：午前10:07で潮汐表によると午後2:07に満潮があります。したがって、満潮まで4時間です。私は「上げ潮」ゾーンの8時の位置に針を合わせます。午後2:07には、針が潮汐表で示されているように「満潮」を表示します。

例2：午後1:00で、潮汐表によると2時間後に干潮があります。

私は「下げ潮」ゾーンの4時の位置に針を移動させます。

これは干潮が6時の位置にある2時間前の調整です。

SETTING OF YOUR HAND (タイドインジケーションハンドの設定方法)

針の調整モードを有効にするには、プッシュアーチを約1秒間押し続けて、針が1段階進むのを確認してください。ボタンを再度押すことで、針を前進させ、希望の位置に移動させることができます。プッシュアーチを押し続けることで、針を速く進めることができます。

注意：調整モードは、プッシュアーチに何の操作もない場合、10秒後に自動的に無効になります。この時間が経過した場合、再度プッシュアーチを1秒間押して設定を変更する必要があります。